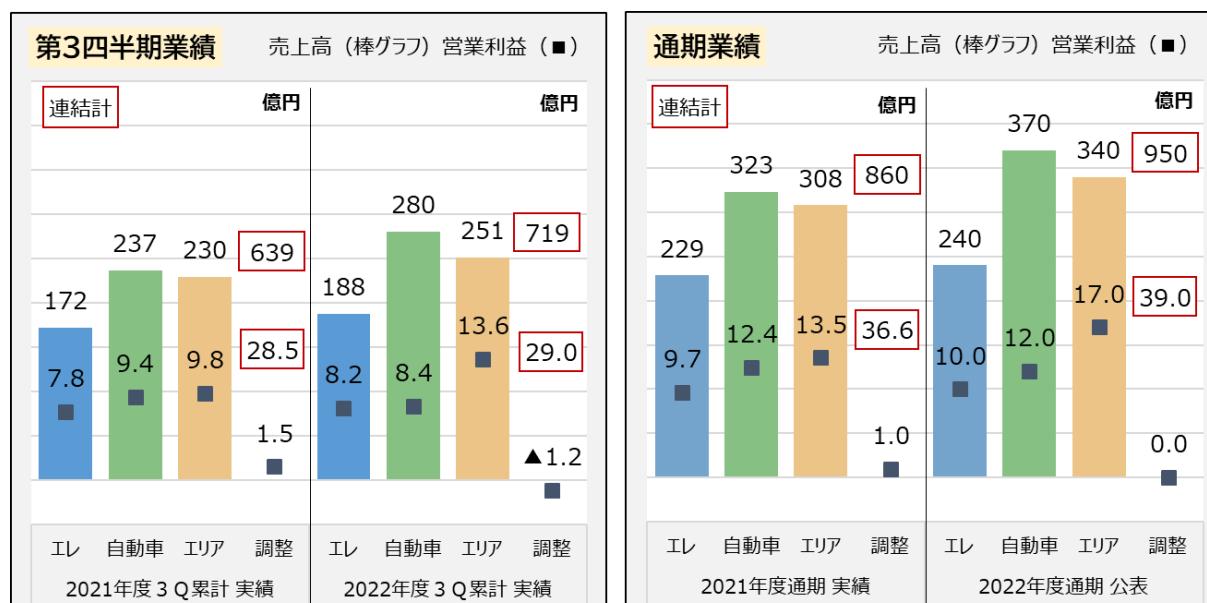


1. 連結経営成績（2022年4月1日～2022年12月31日、累計、単位：百万円）

	2022年3月期（前期）		2023年3月期（当期）		前年同期比	
	第3四半期	通期実績	第3四半期	通期予想	第3四半期	増減率
売上高	63,858	86,019	71,941	95,000	+8,083	+12.7%
営業利益	2,849	3,661	2,902	3,900	+53	+1.9%
経常利益	2,999	3,926	3,042	4,000	+42	+1.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,955	2,421	1,882	2,500	△72	△3.7%

2. セグメント業績の対前年度比較（単位：億円）

第3四半期概況【前年比】

米・中は横ばいも、日本・ASEANは総じて堅調、為替換算の影響（売上+48億円）もあって増収。営業利益は、販管費が増加するも増益で着地。（為替レート）USD 136.51円 CNY 19.88円

セグメント別の状況

（エレクトロニクス関連事業）

- ・空調機・OA機器関連は堅調
- ・車載電池・スマホ・FA関連は生産調整で減少（自動車関連事業）
- ・中国・日本はサプライチェーンの混乱が続き苦戦
- ・ASEANはタイを中心に堅調

（エアリア営業等）

- ・半導体・工作機械・住宅建材関連は堅調

通期予想【今後の見通し】

為替換算の影響（売上+60億円）あり通期増収。米・中の経済動向や顧客の在庫調整等が懸念。販管費と在庫の圧縮など体質強化を推進する。（4Q前提レート）USD 135円 CNY 20円

セグメント別の状況

（エレクトロニクス関連事業）

- ・スマホ・FA関連は生産調整の影響が継続
- ・車載電池関連は国内で需要回復の兆し（自動車関連事業）
- ・中国・日本は生産調整の影響が継続
- ・北米は徐々に需要回復の傾向

（エアリア営業等）

- ・国内需要は堅調も海外案件で調整局面

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上